

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 8 : ^{ながおかし} 新潟県長岡市 (人口 : 2 7 3 , 2 9 6 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

長岡駅 (東京から新幹線で1時間30分、車で2時間30分 (245km))

(2) 事業実施の目的等

大学生から、人と人が支え合う中山間地域の生活と、中越地震の被災から復興までの経験を知っていただくことで、様々な価値観があることに気づいてもらうことを目的としています。
※中越地震被災地である長岡市の中山間地域 (小国、栃尾、川口、山古志、太田・東山地域) を中心に実施します。

(3) 体験の内容

研究室・ゼミ・サークル・個人・グループ等、大学・学生の皆さまの様々な活動と中山間地域での滞在を、ご意向に沿う形でマッチングいたします。

中越地震の震央である川口地域にある「古民家」を滞在拠点とし、以下のような地域資源を活かして、記憶に残る体験を提供します。

* 古民家周辺施設…体育館・野球場・多目的グラウンド・テニスコート・ゲートボール場・ピクニック広場・温泉・道の駅

* 自然・災害関連のみどころ・学びどころ

中越メモリアル回廊 (震災伝承施設・震災遺構)

砂防堰堤・ダムなどのインフラ (ヒトが自然の中で生きるための、用・強・美を兼ね備えた建造物)

罹災者住宅 (地域の材木を用い、雪国の暮らしに必要なコミュニティーを損なわない新しい形の住宅)

棚田 (傾斜地での暮らしにおける重要な食料生産の場及び地すべりを治めるインフラ)

(4) 受入主体

公益財団法人 山の暮らし再生機構
※中越大地震により被災した中山間地域の復興のために、長岡市の出捐により設立された団体です。

(5) 受入期間

通年 (応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	自己負担 : 現地までの交通費、傷害保険料 宿泊費、食事代、研修費、滞在中の移動等 (下線は1泊2日で10,000~15,000円が目安) ※内容によっては費用の補助が可能な場合があります。
①要件	・地域に迷惑をかけず、楽しく真面目に滞在出来る方 ・体験終了後に簡単なアンケートにご協力頂ける方
②応募締切り	希望日の1ヶ月前まで
③宿泊施設	古民家 (ご希望があれば別途宿泊施設もご紹介出来ます。)
④食事形態	古民家での地元食材による料理提供または自炊、地域弁当の手配も可
⑤その他	まずはお気軽にお問い合わせ下さい。 大人数にも対応しておりますが、早めにお申込みを頂けるとありがたいです。

(7) 地域担当者から一言

平成 16 年 10 月 23 日に発生した中越地震によって壊滅的な被害を受けた中山間地域は、コミュニティ再生に重点を置いた住民主体の復興の取り組みによって、震災以前の姿を取り戻したように見えます。しかし一方では、次世代を担う若い人たちへの震災以前の記憶の継承が危ぶまれています。

私たちは、「山の暮らし」には現代社会が忘れかけている自然観や人と人との支え合いがあることを、地域支援活動を通じて学びました。この暮らしが脈々と続いていたからこそ、震災を乗り越えることが出来たといっても過言ではありません。

次世代を担う学生の皆さん、農的な暮らしの社会的価値や自然と人の関わりについて、現場で感じてみませんか。自然に寄り添いながら過ごす時間をオーダーメイドでサポートさせていただきます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市役所	担当部署 地域振興戦略部 地域振興班
(ふりがな) かきもと 担当者氏名 柿本	TEL : 0258-39-2260 FAX : 0258-39-2254
E-mail : gnagaoka@city.nagaoka.lg.jp	
URL :	
応募宛先 公益財団法人 山の暮らし再生機構 [担当 : 臼井 (うすい)] 〒940-0062 新潟県長岡市大手通 1-4-11 水野ビル 3 階 TEL : 0258-30-1213 FAX : 0258-30-1205 E-mail : info@yamanokurashi.jp 財団 HP : http://www.yamanokurashi.jp やまのがっこうプロジェクト HP : https://yamanogakko.com	